

表 給排水衛生設備 H21～H25選択問題の機器表一覧(1)

機器名	算定式 (H21)	算定式 (H22)	算定式 (H23)	算定式 (H24)	算定式 (H25)
上水受水槽	上水受水槽【有効容量:6m ³ 】 上水の1日使用量は80ℓ/人の0.3として、社員480人、役員他20人より $480 \times 80 \times 0.3 + 20 \times 80 \times 0.3 = 11,520 + 480 = 12,000\ell$ /日 受水槽は、上記使用水量の半分とする。 上水受水槽容量=12,000/2=6,000ℓ 従って、6m ³ となる。	上水受水槽【有効容量:16m ³ 】 上水の1日使用量は80ℓ/人の0.3として、社員620人、 食堂400食(1食当たり40ℓ)を想定して 1日使用量=620×80×0.3+40×400=30,880 ℓ/日 上水受水槽は、上記使用水量の半分(1/2)とする。 上水受水槽容量=30,880/2=15,440 ℓ 従って、16m ³ となる。	上水受水槽【有効容量:9m ³ 】 上水の1日使用量は80ℓ/人の0.3として、社員685人、 1日使用量=685×80×0.3=16,440 ℓ/日 上水受水槽は、上記使用水量の半分(1/2)とする。 上水受水槽容量=16,440/2=8,220 ℓ 従って、9m ³ となる。	上水受水槽【有効容量:8m ³ 】 上水の1日使用量は80ℓ/人の0.3として、社員649人、 1日使用量=620×80×0.3=15,576 ℓ/日 上水受水槽は、上記使用水量の半分(1/2)とする。 上水受水槽容量=15,576/2=7,788 ℓ 従って、8m ³ となる。	上水受水槽【有効容量:8m ³ 】 上水の1日使用量は80ℓ/人の0.3として、社員639人、 1日使用量=639×80×0.3=15,336 ℓ/日 上水受水槽は、上記使用水量の半分(1/2)とする。 上水受水槽容量=15,336/2=7,668 ℓ 従って、8m ³ となる。
雑用水受水槽	雑用水受水槽【有効容量:28m ³ 】 雑用水の1日使用量は90ℓ/人の0.7として、社員480人、役員他20人より $480 \times 90 \times 0.7 + 20 \times 90 \times 0.7 = 30,240 + 1,260 = 31,500\ell$ 雑用水受水槽は、上記使用水量の半分(1/2)とする。 雑用水受水槽容量=31,500/2=15,750ℓ 従って、28m ³ となる。	雑用水受水槽【有効容量:35m ³ 】 雑用水の1日使用量は90ℓ/人の0.7として、社員620人、 食堂400食(1食当たり40ℓ)を想定して 1日使用量=620×90×0.7+40×400=30,880 ℓ/日 雑用水受水槽は、上記使用水量の半分(1/2)とする。 雑用水受水槽容量=30,880/2=15,440 ℓ 従って、35m ³ となる。	雑用水受水槽【有効容量:116m ³ 】 雑用水の1日使用量は90ℓ/人の0.7として、社員685人、 1日使用量=685×90×0.7=42,825 ℓ/日 雑用水受水槽は、上記使用水量の半分(1/2)とする。 雑用水受水槽容量=42,825/2=21,412.5 ℓ 従って、116m ³ となる。	雑用水受水槽【有効容量:110m ³ 】 雑用水の1日使用量は90ℓ/人の0.7として、社員649人、 1日使用量=620×90×0.7=39,420 ℓ/日 雑用水受水槽は、上記使用水量の半分(1/2)とする。 雑用水受水槽容量=39,420/2=19,710 ℓ 従って、110m ³ となる。	雑用水受水槽【有効容量:108m ³ 】 雑用水の1日使用量は90ℓ/人の0.7として、社員639人、 1日使用量=639×90×0.7=39,951 ℓ/日 雑用水受水槽は、上記使用水量の半分(1/2)とする。 雑用水受水槽容量=39,951/2=19,975.5 ℓ 従って、108m ³ となる。
上水高置水槽					
雑用水高置水槽					
上水揚水ポンプ	上水加圧給 上水の時間 除すること 上水の時間 瞬時最大予 の2倍とする 瞬時最大予 上水加圧給 上水加圧給				
上水加圧給水ポンプ					
上水揚水ポンプ					
水道引き込み管	上水本管【 受水槽容量 1日の主たる 従って、6/8				

・この内容は、会員講座内での公開である。
 (建築資格研究会のオリジナル分析一覧表_{2018年4月より公開中})
 ・H21～H29選択問題(給排水衛生設備)の機器表を掲載。
 (A3伴4枚に全て有:H21～H25が2枚、H26～H29が2枚)
 ・機器表の計算式は、パターン化されている。
 ・各年度の問題解答(系統図、配管平面図)と一緒に見て
 頂くと、選択問題(給排水衛生設備)は合格確実。

表 給排水衛生設備 H21～H25選択問題の機器表一覧(2)

機器名	算定式 (H21)	算定式 (H22)	算定式 (H23)	算定式 (H24)	算定式 (H25)
雑用水揚水ポンプ			雑用水加圧給水ポンプ【給水量:1760/min台】 雑用水の時間平均予想給水量は、1日の雑用水量の1/8とし、時間最大予	雑用水揚水ポンプ【給水量:1670/min台】 雑用水の時間平均予想給水量は、1日使用水量を使用時間帯の継続8時 間で除することで求める。	雑用水加圧給水ポンプ【給水量:1650/min台】 雑用水の時間平均予想給水量は、1日使用水量を使用時間帯の継続8時 間で除することで求める。
雑用水揚水ポンプ					る。 る。 とする。 台 (3台
雑用水揚水ポンプ					る。 30)×1.1
貯湯量					
雨水貯留槽					
雨水利用ろ過装置					
屋内消火栓設備	屋内消火栓 1号消火栓の 消火水槽の				
屋内消火栓設備	屋内消火栓 実揚程は、 である。 実揚程=5.0 全揚程は、 の合計に1.1倍したものである。 全揚程=(40.9+50/9.81+35/9.81+170/9.81)×1.1=73.6=74 m				

・この内容は、会員講座内での公開である。
 (建築資格研究会のオリジナル分析一覧表_{2018年4月より公開中})
 ・H21～H29選択問題(給排水衛生設備)の機器表を掲載。
 (A3伴4枚に全て有:H21～H25が2枚、H26～H29が2枚)
 ・機器表の計算式は、パターン化されている。
 ・各年度の問題解答(系統図、配管平面図)と一緒に見て
 頂くと、選択問題(給排水衛生設備)は合格確実。